

合流式下水道緊急改善事業 事業評価シート

評価実施年月：平成28年10月

1. 対象事業	明石市二見処理区合流式下水道緊急改善事業																							
2. 実施主体名称	明石市																							
3. 計画期間	平成21年度～平成25年度																							
4. 対象事業の進捗状況	<p>下記の内容について、計画通りに実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二見浄化センターに雨天時活性汚泥法を導入した。 ・雨水吐口に簡易スクリーンを設置した。 ・合流人孔をインバート化し、泥溜を解消した。 																							
5. 目標の達成状況と達成の見通し	<p>5-1 改善目標</p> <p>① 汚濁負荷量の削減 : BOD 負荷量を分流並に削減する。</p> <p>② 公衆衛生上の安全確保 : 未処理放流回数を半減させる。</p> <p>③ きょう雑物の削減 : 背水への影響を勘案しつつ、きょう雑物の流出を極力防止する。</p> <p>5-2 目標の達成状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>改善項目</th> <th>評価指標</th> <th>当初</th> <th>改善目標</th> <th>事後評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 汚濁負荷量の削減</td> <td>年間放流汚濁負荷量</td> <td>56 t/年</td> <td>47 t/年</td> <td>40 t/年</td> </tr> <tr> <td>② 公衆衛生上の安全確保</td> <td>年間未処理放流回数</td> <td>132 回/年</td> <td>66 回/年</td> <td>57 回/年</td> </tr> <tr> <td>③ きょう雑物の削減</td> <td>改善済み吐口数</td> <td>0 箇所</td> <td>2 箇所</td> <td>2 箇所</td> </tr> </tbody> </table> <p>改善計画を基に事業を実施し、改善目標を達成している。</p>				改善項目	評価指標	当初	改善目標	事後評価	① 汚濁負荷量の削減	年間放流汚濁負荷量	56 t/年	47 t/年	40 t/年	② 公衆衛生上の安全確保	年間未処理放流回数	132 回/年	66 回/年	57 回/年	③ きょう雑物の削減	改善済み吐口数	0 箇所	2 箇所	2 箇所
改善項目	評価指標	当初	改善目標	事後評価																				
① 汚濁負荷量の削減	年間放流汚濁負荷量	56 t/年	47 t/年	40 t/年																				
② 公衆衛生上の安全確保	年間未処理放流回数	132 回/年	66 回/年	57 回/年																				
③ きょう雑物の削減	改善済み吐口数	0 箇所	2 箇所	2 箇所																				
6. 対象事業の整備効果の発現状況等	<p>下水道法施行令第6条第2項の規定に基づく合流式下水道雨天時放流水質調査結果は、基準値を下回っている。平成28年1月29日採取 BOD: 5.1 mg/l (基準値: 40 mg/l)</p> <p>また、放流先である播磨灘の水質(COD)もおおむね減少傾向を示している。</p>																							
7. 事業の効率化に関する取り組み状況	<p>施設改造が比較的容易な新技術である雨天時活性汚泥法を二見浄化センターに導入するとともに、既存施設(汚水調整池)の一部を雨水滞水池として利用するなど低コスト化を図った。</p>																							
8. 今後の方針	<p>合流式下水道緊急改善計画に位置付けられた対策はすべて完了したことから、当面の目標は達成された。</p> <p>今後は、整備した施設の適正な維持管理を実施するとともに、明石市第5次長期総合計画(H23～H32)の個別計画である「下水道中期ビジョン『あかし下水道計画ガイド』」に抜本対策として位置付けた「雨水管整備による合流式下水道の分流化」を、効率的かつ効果的に取り組んでいく。</p>																							